

農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

 (33) ブランド・パワーアップ資金の利用者拡大について
JAえひめ中央（愛媛県）

新規	継続
	○
	(2016年3月)

1 動機(経緯)	営農部新規就農研修センターより新規就農研修生が卒業し、就農する際の運転資金に対する資金は無いか相談があり、当組合で研修した就農者であれば、部門間連携として金融面での支援を行なうべきであろうと考え、公庫資金よりスピーディに且つ手軽に対応出来るようブランドパワーアップ資金（以下、BP資金）の要領の一部改正を行いました。
2 概要	当組合新規就農研修センターの修了生を対象にした新規就農の際の肥料、農薬等生産資材購入の際の運転資金にも対応可能としました。（借入金額5百万円以内、借入期間7年以内）
3 成果(効果)	2018年12月末農業資金実績は以下の通りとなりました。 実行件数186件、融資金額392百万円うち、BP資金77件、179百万円 BP資金累積195件428百万円 順調に推移しており、今後も正確な審査の下、残高伸長に努めていきたいと考えます。
4 今後の予定	各店舗農業資金の残高を見ると、興味を持たれている方が増加してきています。 資金使途を見ると柑橘はハウス施設等の品質向上を目的した設備投資が多く、水稻、野菜生産でトラクター等農業機械でも多く利用されています。メイン強化先訪問だけでなく組合全体として農業資金に対する関心を高めて広くアピールを行い、農業融資シェアを伸ばしていきたいと考えます。

【新規就農研修生への研修風景】

